

番匠川で小学生と一緒に『水生生物調査』を実施します

～採集した水生生物の同定・分類を行い、河川の水質状況を判定～

国土交通省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の皆様のご協力をいただいて、『水生生物調査』を実施しています。

- 調査は子供たちにもわかりやすく、特別な機材を用いないため、誰でも簡単に調査可能
- 身近な自然環境に接することで、身近な環境問題への関心を高めるいい機会
- 昭和59年度から国土交通省が実施
- 河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質状況を判定

1. 日 時 : 令和6年9月26日(木) 9:40~11:10(予定)
※雨天の場合、9月30日(同時刻)に延期になります
2. 場 所 : 番匠川 水辺の楽校前(佐伯市本匠大字笠掛)
3. 内 容 : 水生生物調査(本匠小学校全校生徒と共同調査)
4. その他

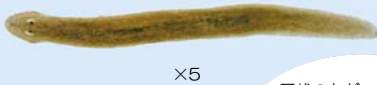
天候不良や河川の状況等によっては、中止になる場合があります。
ご不明な点がある場合は、以下問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所
電話：0972-22-1880(代表)
FAX：0972-23-7481
副所長(河川) 高場 紀好(たかば のりよし)
流域治水課長 荒巻 栄輔(あらまき えいすけ)

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

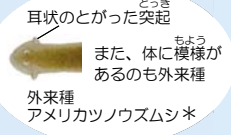
I きれいな水



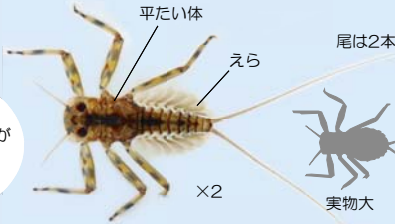
実物大

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



耳状のつがった突起
また、体に模様があるのも外来種
外来種
アメリカツノウズムシ*



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、
同じ種類である

頭は赤～茶色
(クロスヘアヒトンボ*は黒)

扇状のえら
(クロスヘアヒトンボ*はなし)



ヒトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものおそ



x3

実物大

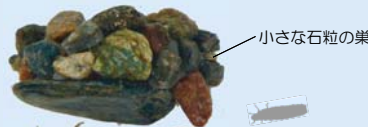


x3

実物大

ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



実物大

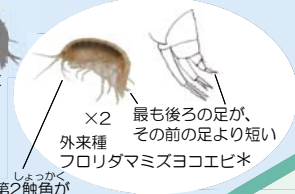
ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



最も後ろの足が、
その前の足より短い
外来種
フロリダマミズヨコエビ*



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる



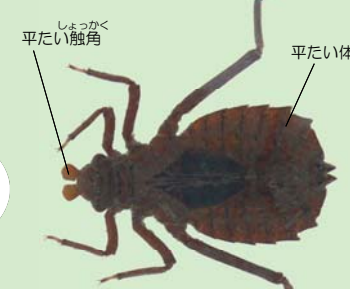
タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる



カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボ*は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



x10



ゲンジボタル

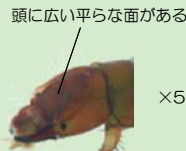
流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



ゲンジボタル

ハイケボタル*

前胸の模様異なる



オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

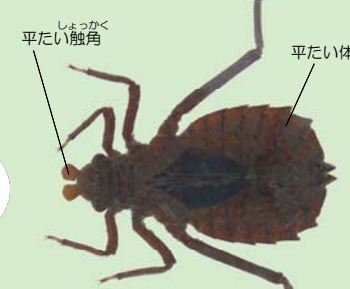
II ややきれいな水



x0.5

カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボ*は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



x10



ゲンジボタル

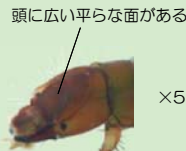
流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



ゲンジボタル

ハイケボタル*

前胸の模様異なる



オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



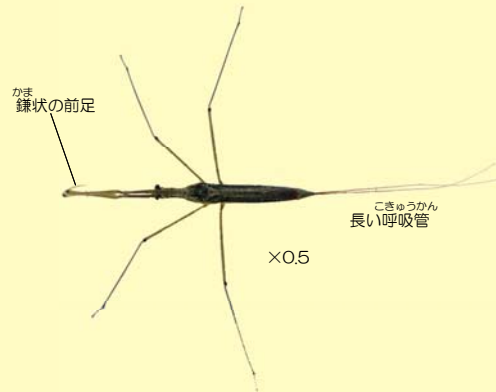
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じているところ)

Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にもいる

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある淡水域にはマジミ*や外来種のタイワンシジミ*がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。